

刊夕 日八十月二



支那單語 東をトシ西をシト南をトシ北をトシト呼ぶ東をトシ南をトシト呼ぶ西をトシ北をトシト呼ぶトウトウと呼んでゐる。

支那單語

東をトシ西をシト南をトシ北をトシト呼ぶ東をトシ南をトシト呼ぶ西をトシ北をトシト呼ぶトウトウと呼んでゐる。

減額難の新豫算 結局前年套襲か

理事者が大頭痛の編成で この市會は今月末頃

平市が十四年度豫算に對し上 休前年度の套襲と云ふところ 局から前年度の當初豫算四十 二萬餘圓より五分減を強へら れて編成に大頭痛であること は屢報の如く難航に接した當 局は各款に亘つて無理な削減 に心を痛めつゝ細目に眼を注 いでは見たものゝ十三年度當 初豫算自體が切り詰めたもの である以上どうにもならずと 云ふ結果に陥つたらしく斯て 捏ち上げた新豫算は主なる費 日の振り當てより想像して大

局の窓口から見た 舊年末の金の動き

拂より受が多い貯金

舊年末も愈々今日一日となつ た地方の財況を平郵便局の窓 口にのぞけば最近三日間の 貯金の合計受一六五四〇、 二八三三四圓(昨年舊年末 同期九七一〇、二〇四六三 圓)拂一〇三三〇、一九九 二六圓(昨年二二三〇、二二 五二九圓) 本年は受拂の差引八千七百 八圓が貯金に残り前年は受 拂り拂が二千六百六圓多くな つてゐる。次で爲替の状況は 受二二七〇、八五三六圓(昨 年同期三〇七〇、九二八一

平市内各神社の 祈念祭

平市内各神社の祈念祭は昨十 七日午前十時縣社子爵倉後 行かぬとしても大体に於て前 年より豊かであると疑はれる ものがあつてあらうと

炭礦が荒す道と川 善後策の打ち合せ

今日土木監督所に於て

平土木監督所では管下に於け る道路河川の中炭礦等の所在 のため甚だしく荒れる内郷 村その他に對し善後策につい て今十八日午前十時同所に警 戒炭礦調査所長その他の關 係者及び野崎、蓮沼縣議等を 會して須藤監督所長から炭礦 に於て石炭を洗ふ濁水を遠慮 なく放流されることは河川の 障害が多いので適當な方法を

慰問 裁縫生の鰯乾

資に 百三十余名で一週間

石城郡植田町の植田裁縫女學 校生徒百三十余名は戦線勇士 に贈る慰問袋を父兄から貰 はす自分の努力で得やうと健 氣にも右全生徒が去る十二日 から今十八日に至る舊年末の 一週間隣町勿来の關田湖口一 郎氏外五ヶ所の鰯乾増に毎早 朝の五時より寒風吹に吹き さらされながら夕刻五時まで 勤勞を続け當業側でも年末の 手薄を救はれて喜んだが勞銀

一月の木炭生産高 前月より四萬俵増

昨年同様に比し四萬八千俵減 累計では約十萬俵減産

縣木檢平支所管内の去る一月 三五一俵 増であるが前年同期に比すれ ば石城二七四三八俵双葉二〇 五一六俵を共に減じ兩郡に於 て四萬七千九百八十四俵の減 産である尙ほ年度初めからの 累計は百二十八萬二千八百一 一〇三〇二俵(一九六七 七萬二千五百九十九俵九千 八百九十九俵五分厘)強を減じた

暴支膺懲を以て 御厚志に答へん

平市久保町出身 河原 弘

謹啓、時下寒冷の折柄御一 同様に其の後益々御清榮 の由大賀至極に存じます、 陳者私事も御座候をもちま して元氣旺盛軍務に服し居 ります故他事ながら御放念 下さい、扱て過日は御座重 なる慰問袋御送付下され有 ります、然して事變勃發以 來重々御座候御座候御座候

洋車初乗の記

(3) 營口市 松本幸平

然しこゝまで乗つて来て歩 思ひ切つて又市公署を指した くの類だ車も拂はんで黙 ら引張り出した、乗る方も一 苦勞だつたが乗せた車夫も樂 ではなかつたらう、一快々的 詰めてゐる、心の中ではあの な一等と急ぎでもないのに支 市公署迄行くのだぞと私語き 乍らもその支那語が出来ない のが身の因果、大汗を拭き乍

元氣で戦つてます

平市彌宜町出身

謝の外はありせん、斯る 皆々様の熱烈なる御支援に 報ゆるべく今後益々努力以 て暴支膺懲の理旨に添ひ奉 る覚悟です、先づは不取敢 右御禮まで、最後に御一同 様の御健康を御祈り致しま す、 敬具

文魁文堂

電話313番

二日市初賣に就て

来る舊正月二日市初賣に就て左記の通り御實行御願ひ 致します、 一、景品に就て 現金にて商品又は商品券御買上 券にて御買上げの方には景品は差上げません(但酒類御買上券は差上げる旨申合せました) 一、開店時間 其筋の通しにより午前六時開店 一、三月定休日變更 本月に限り二十五日に延期

平商工會

平市各商店御中 平市御客様御中

らも無事市公署に居て呉れ の背中に赤の「172」の營業 だ、世渡の道に樂なものとて 番號も汗埃で汚れてゐた、か なからうが、何とこれ二十 一うして彼は妻を養つて行 く 錢とは驚く程安いではあるま のだ、その後一度も乗合せな いか、勿論これは乗客の自分 の酌量にも彼は健在で職業大 可憐相だと思つて二十三錢 事と客を求めて今日は東、明 造つたら「謝々」と云ふて今來 だ道をだるさうな足取りで當 いてゐる事だらう、健在なれ かの洋車夫の後姿、黒い上衣

# 農業の回

## メロンの栽培

### 一物に全力

(3) それで全国に知られた篤農家の談

これは粘重土に腐葉土や軽い細土と少量の堆肥、コンクリート屑などを混和して排水可良にしたものが最も成績がよいと思ふ。

昔はこれ等栽培用土は一回きりですすたものだったがそれは收支償はぬので三回ぐらゐは速作する、また第二回は表土を取り除き第二回は全量の約三分の一ぐらゐの用土を新土と取り換へれば差支へないことを確めました。

肥料、自分は油粕、米糠、過磷酸石灰、葉灰、硫酸加里等をやつてゐる、特にこの米糠は類の甘味を増加するの効がある、追肥は液肥と肥料土の両方を使用するこの液肥は灌水の代用として施すやうに極く薄いものがよい。

私のところでは現在英國のカーター商會系のアールスヘボリットと云ふ品種の栽培をしてゐるがこれは非常に作り易く甘味が強く最も營利的なものであると思ふ、さて最後に此の一年間の經營方針は一寸むづかしい言葉だが精農日記にあるやうに一家總動員主義を勵行して行く以外に何ものもない、米も麥も蔬菜もやつては行くがこれ等はほかの者にやらせて自分はメロン栽培に邁進の考へだ。

幸福の父

健康の母たらんには召し給へ！

機那サフラン酒は子寶を得て易し。

定價 二圓二角

吉澤仁太郎藥房

平市五丁目角 山野邊藥局

スペイン GHN 元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1.20

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平二) 西村屋藥舖 (電三)

た母せつさんが自慢の種にしてゐるマスクメロン協會品評會の優勝カップは年々逐つて殖えてゐる(終り)

一般印刷物も御引受致します

新しいわき新聞社印刷部

内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科

平市田町 電話五二三番

高久病院

院長 醫學士 高久忠

カバと洋品類

平市前驛(新道) 眞砂屋 (電話五六)

味覺を本位として、新しい歡びに充ちて、生れたつばき 味道の客一殊に家族連れ——日本料理と壽司を主としたモダン制度で御座います、當店は家族的團圓を強調し、設備調度は申すまでもなく、店内の空氣を常に明朗にして氣品を高め、澄潤にして秩序あらしめ、これに美酒美食を配して、御客様が極めて氣輕に、至味三昧に入らんことをモットーと致し、萬事に心を致して居ります。美味無限の山茶!! 眞にお客本位の山茶!! 御家族の御同伴の山茶!! これこそ高らかに産聲をあげた山茶の眞價で御座います、何卒御愛顧と御利用下さいませ、様切致致します。

つばき 平市田町六九番地(末月跡)

山茶 主人 敬白

平市田町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院

電話六六九番

入院應需(自炊の便あり)

二新時代の要求

兩層專業に等外看護婦を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します。

平市南町 電話三〇七

平看護婦會

會長 清野キヨ

御手不足の御家庭 輕い御病人の付添 妊婦産婦の御家庭

便利で 日下家政婦會の 經濟な 派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから 何を任せしてもご安心です

平市白銀町十番地 (電話七二三番)

日下家政婦會

會長 日下すい子

會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四二番

院長 醫學博士 鈴木定藏

小兒科 院長 鈴木定藏

内科 院長 高橋俊幸

皮膚泌尿科 院長 鈴木定藏

物理療法科 院長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に從來す(急患は此の時間に限りあります)

高久病院

院長 醫學士 高久忠

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

根本 婦人科醫院

平市南町

根本 莊次郎

根本 貞雄

電話三四番

(入院隨時)